

## 横たわれないほどの症状が

最近よく耳にする『带状疱疹』。どのような病気なのか、なってみないと理解できないと思います。相談に来られる方のお話を聞いていると、共通の特徴があるようです。

例えば、80歳代の男性の場合。夜中に突然、左脇の下辺りが痛み、動けなくなってベッドにも横たわれないというので、救急車を呼ぶことに。

痛みがひどいので、とりあえず手元にあった鎮痛剤を服用。救急車が到着したときには、鎮痛剤が効いて、痛みはなくなっていたが、総合病院へ搬送。その病院では、鎮痛剤の注射をして内服薬が処方され、入院することもなく家に帰ってきたといいます。

翌日、奥さまが相談に来局。救急搬送のことを一通り話された後、脇腹に紅斑が出てきて痒いが痛みもあるというので、写真を撮ってきてもらいました。案の定、带状疱疹の出方です。

翌日、整形外科に行くというので、「带状疱疹らしいとお話しして、抗ウイルス剤を処方してもらいましょう。皮膚に症状が出ているが全身病なので、近くの内科でもいいですよ」とお知らせしましたが、紹介された皮膚科へ行ったそう。

「整形外科に行ったら、これは皮膚科ではないとダメだといわれました」と話すと、皮膚科の先生は笑っていました。

結果は带状疱疹。抗ウイルス薬と痛み止めと抗炎症作用のある軟膏が処方されました。

## 店頭から 「にんにちほ」

第151回

突然、左脇の下辺りが痛み動けなくなり、救急搬送された高齢の男性。带状疱疹と診断され、おクスリを処方してもらい療養することに…。

# からだに痛みが出る带状疱疹

## 神経痛が残る場合が多いため安静に



## 完治するまでは焦らないこと

2日後、奥さまが再来店。抗ウイルス薬の副作用の表記に「形が変わった水ぶくれが出たときは…」と書いてあり、今日あたりから水ぶくれが大きくなったり、はじけて水が出たりしたので心配だといいます。

皮膚図鑑の写真を見せたら、「もう少し大きい水ぶくれだけど、こんな感じ」と。「薬の副作用というより带状疱疹がたどる経過ですから。赤みが増えて、だんだん黒くなってかさぶたのようになって終息していきますから心配いりません」とお話ししたら安心された様子でした。

今思えば救急搬送されたときの脇の痛みは、带状疱疹の前兆だったのでしょうか。

その時点では紅斑や水ぶくれが出ていなかったため、带状疱疹とは判断できず、様子を見ることになったのです。

皮膚の症状が消えても、神経痛が残る場合が多いので、しばらく安静にして体力を落とさないように様子を見てください。神経痛を治すのは難しいので、完治するまで焦らないようにしましょう。

宮川薬局(宮城県仙台市)代表  
薬学博士・薬剤師

みやがわとしじ  
宮川季士先生

### プロフィール

1976(昭和51)年、東北薬科大学(現・東北医科薬科大学)卒業。'78(同53)年、同大学大学院修士課程修了。'87(同62)年、薬学博士学位。地域に根ざしたおクスリ屋さんとして、多くのファンが。「湿度が高い時季も、熱中症には注意を」

